



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 株式会社山田債権回収管理総合事務所 上場取引所 東
 コード番号 4351 URL <http://www.yamada-servicer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 晃久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中 光行 TEL 045 (325) 3933
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,856	9.7	75	△41.4	140	△7.9	92	△38.3
2022年12月期第3四半期	1,691	3.3	129	75.3	152	162.4	149	46.3

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 107百万円 (15.3%) 2022年12月期第3四半期 93百万円 (△22.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	21.71	—
2022年12月期第3四半期	35.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	5,563	58.4	3,248	58.4	3,248	58.4
2022年12月期	5,174	61.5	3,183	61.5	3,183	61.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 3,248百万円 2022年12月期 3,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,678	12.1	218	305.0	307	257.6	189	147.8	44.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	4,268,000株	2022年12月期	4,268,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	8,434株	2022年12月期	8,434株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	4,259,566株	2022年12月期3Q	4,259,566株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく景気、不動産市況、金利、為替動向等の社会・経済動向の変化が含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、世界経済の大きな流れの中で、本年5月に新型コロナウイルス感染症が5類移行となりポストコロナ対策が本格化しました。今後の状況等について注視してまいります。

このような環境下、当社グループは、「顧客第一主義」を経営理念に掲げ、「不動産・債権に関するワンストップサービスの提供」をビジネスモデルとして、サービサー事業、派遣事業、不動産ソリューション事業等を展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が1,856百万円（前年同期比9.7%増）となり、営業利益は75百万円（前年同期比41.4%減）、経常利益は140百万円（前年同期比7.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は92百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① サービサー事業

サービサー事業においては、既存の購入済み債権からの回収等が順調に進み、売上高は565百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益は207百万円（前年同期比38.8%減）となりました。なお前年同期において、個別要因から比較的大きな売上高、セグメント収益を計上したこと、当期は回収関連費用が先行して支出されたこと等により、前年同期との比較では前述の通りとなっています。

② 派遣事業

派遣事業においては、計画通りに推移し、売上高は1,032百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は150百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

③ 不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業においては、前期に仕入れた大型の借地権負担付土地（底地）案件の進捗が予定より遅れておりますが、当該底地以外の不動産の売却が進んだ結果、売上高は271百万円（前年同期比232.6%増）、セグメント利益は82百万円（前年同期比384.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産5,563百万円（前連結会計年度末に比べ389百万円増）、株主資本3,118百万円（同49百万円増）となりました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は4,936百万円（前連結会計年度末に比べ431百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金52百万円の増加、買取債権732百万円の増加、販売用不動産200百万円の減少、未収入金71百万円の減少、貸倒引当金64百万円の増加によるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は626百万円（前連結会計年度末に比べ42百万円減）となりました。これは主に、投資有価証券60百万円の減少によるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は1,259百万円（前連結会計年度末に比べ282百万円増）となりました。これは主に、短期借入金200百万円の増加によるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は1,055百万円（前連結会計年度末に比べ41百万円増）となりました。これは主に、リース債務62百万円の増加によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は3,248百万円（前連結会計年度末に比べ64百万円増）となりました。これは主に、配当に伴う利益剰余金42百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金92百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の連結業績予想については、2023年8月4日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	758,793	810,951
売掛金	127,642	118,558
買取債権	2,291,574	3,023,701
販売用不動産	1,862,113	1,661,678
仕掛品	1,888	1,859
未収入金	114,419	42,696
未収還付法人税等	1,067	—
その他	74,660	69,130
貸倒引当金	△727,139	△791,776
流動資産合計	4,505,021	4,936,799
固定資産		
有形固定資産	63,423	129,911
無形固定資産	6,320	5,100
投資その他の資産		
投資有価証券	364,866	303,969
差入保証金・敷金	156,418	163,869
その他	78,260	23,770
投資その他の資産合計	599,544	491,609
固定資産合計	669,288	626,621
資産合計	5,174,310	5,563,420
負債の部		
流動負債		
買掛金	798	1
短期借入金	750,000	950,000
未払金	89,814	74,426
リース債務	18,724	34,409
未払法人税等	17,775	51,644
預り金	43,439	30,949
賞与引当金	17,200	44,810
その他	39,619	73,419
流動負債合計	977,371	1,259,661
固定負債		
リース債務	35,380	97,531
繰延税金負債	36,778	25,569
役員退職慰労引当金	648,484	632,416
退職給付に係る負債	260,114	262,076
預り保証金	21,123	26,040
資産除去債務	11,286	11,435
固定負債合計	1,013,167	1,055,070
負債合計	1,990,539	2,314,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,084,500	1,084,500
資本剰余金	806,840	806,840
利益剰余金	1,180,480	1,230,379
自己株式	△3,228	△3,228
株主資本合計	3,068,593	3,118,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,178	130,197
その他の包括利益累計額合計	115,178	130,197
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,183,771	3,248,688
負債純資産合計	5,174,310	5,563,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,691,458	1,856,104
売上原価	1,120,029	1,340,718
売上総利益	571,429	515,386
販売費及び一般管理費	442,085	439,602
営業利益	129,343	75,784
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,999	7,220
家賃収入	7,967	63,634
投資事業組合利益	12,248	—
設備賃貸料	9,801	11,979
その他	5,744	10,001
営業外収益合計	41,762	92,835
営業外費用		
支払利息	16,121	12,077
家賃原価	1,717	7,124
投資事業組合損失	—	5,933
その他	995	3,316
営業外費用合計	18,833	28,452
経常利益	152,271	140,167
特別利益		
固定資産売却益	—	10,462
特別利益合計	—	10,462
特別損失		
投資有価証券評価損	—	14,990
投資有価証券売却損	—	6,872
特別損失合計	—	21,862
税金等調整前四半期純利益	152,271	128,767
法人税、住民税及び事業税	12,231	48,592
法人税等調整額	△9,762	△12,319
法人税等合計	2,469	36,273
四半期純利益	149,802	92,494
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,802	92,494

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	149,802	92,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,516	15,018
その他の包括利益合計	△56,516	15,018
四半期包括利益	93,286	107,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,286	107,513
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルス感染症により、今後も営業活動に影響があるものと見込んでおります。ただ、このような状況は、2023年末に向けて徐々に正常化すると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、収束遅延により影響が長期化した場合には、将来において当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	605,010	995,377	81,771	1,682,158	9,300	1,691,458
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20,179	—	20,179	—	20,179
計	605,010	1,015,556	81,771	1,702,338	9,300	1,711,638
セグメント利益	338,450	144,794	16,969	500,214	1,213	501,428

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,691,458
セグメント間の内部売上高又は振替高	△20,179	—
計	△20,179	1,691,458
セグメント利益	△372,085	129,343

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の主なものは、全社費用の372,105千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	565,828	1,015,154	271,995	1,852,978	3,126	1,856,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	17,528	—	17,528	—	17,528
計	565,828	1,032,683	271,995	1,870,507	3,126	1,873,633
セグメント利益又は損失(△)	207,127	150,364	82,284	439,776	△1,355	438,420

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,856,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	△17,528	—
計	△17,528	1,856,104
セグメント利益又は損失(△)	△362,636	75,784

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主なものは、全社費用の362,815千円であり、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自2022年1月1日 至 2022年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	その他 (注) 1	
債権回収受託手数料	14,451	—	—	—	14,451
派遣料収入	—	995,377	—	—	995,377
不動産販売	—	—	33,654	—	33,654
仲介手数料等	—	—	32,436	—	32,436
その他	1,126	—	—	9,300	10,426
顧客との契約から生じる収益	15,577	995,377	66,090	9,300	1,086,344
その他の収益(注) 2	589,433	—	15,681	—	605,114
外部顧客への売上高	605,010	995,377	81,771	9,300	1,691,458

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」に基づく買取債権の回収による収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入であります。

当第3四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	サービス事業	派遣事業	不動産ソリューション事業	その他 (注) 1	
債権回収受託手数料	21,363	—	—	—	21,363
派遣料収入	—	1,015,154	—	—	1,015,154
不動産販売	137,000	—	248,900	—	385,900
仲介手数料等	—	—	7,683	—	7,683
その他	490	—	—	3,126	3,616
顧客との契約から生じる収益	158,853	1,015,154	256,583	3,126	1,433,718
その他の収益(注) 2	406,975	—	15,411	—	422,386
外部顧客への売上高	565,828	1,015,154	271,995	3,126	1,856,104

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、測量事業・投資事業等を含んでおります。

2. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」に基づく買取債権の回収による収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入であります。